



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年10月30日

上場会社名 ディーブイェックス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3079 URL <https://www.dvx.jp>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 柴崎 浩  
問合せ先責任者（役職名） 取締役執行役員（氏名） 諏訪 聡志（TEL）03-5985-6123  
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

## 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

## （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	24,033	6.2	177	△45.2	176	△46.6	115	△50.3
2024年3月期中間期	22,632	△4.2	323	△45.9	330	△46.2	233	△44.0
	1株当たり 中間純利益		潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年3月期中間期	11.10		—					
2024年3月期中間期	22.39		—					

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	22,972	8,819	38.4
2024年3月期	22,678	9,198	40.6

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 8,819百万円 2024年3月期 9,198百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	50.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,619	6.0	668	2.3	668	0.9	444	157.1	42.56

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年3月期中間期	10,780,000株	2024年3月期	10,780,000株
-------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2025年3月期中間期	307,944株	2024年3月期	335,444株
-------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（中間期）

2025年3月期中間期	10,452,520株	2024年3月期中間期	10,414,368株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当中間期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間貸借対照表 .....	4
(2) 中間損益計算書 .....	5
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書 .....	6
(4) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9

## 1. 当中間期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国の経済は、一部に足踏みが残るものの、景気は緩やかに回復しました。しかしながら、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクとなっています。また、物価上昇、中東情勢の悪化、金融資本市場の変動等の影響もあり、先行きは不透明な情勢となっています。

医療機器業界におきましては、2024年6月に診療報酬が改定され、診療報酬本体は0.88%のプラス改定、材料価格は0.02%のマイナス改定となりました。医業利益率が低下傾向にある中、昨今の物価高騰による費用の負担増や医療従事者の賃上げなどの影響で医療機関を取り巻く経営環境は厳しさが増し、より一層、業務の効率化が求められます。

このような情勢のもと、当社では、持続可能な医療環境の整備の一翼を担うべく、医療機器のニーズを捉えた最適な商品やサービスの提案に努め、医療の安全、安心のために安定して商品を提供し続けることを使命とし企業活動を行ってまいりました。

不整脈事業及び虚血事業が好調に推移した一方、人件費の増加や戦略的な経費支出を積極的に行ったことから、当中間会計期間の売上高は24,033,467千円(前年同中間期比6.2%増)、営業利益は177,336千円(前年同中間期比45.2%減)、経常利益は176,658千円(前年同中間期比46.6%減)、中間純利益は115,996千円(前年同中間期比50.3%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 不整脈事業

主に、電気生理検査用カテーテル及び冷凍アブレーション用カテーテルの販売数量が増加したことから、当中間会計期間の売上高は20,446,760千円(前年同中間期比4.9%増)、セグメント利益は2,003,766千円(前年同中間期比2.5%増)となりました。

#### ② 虚血事業

主に、自動造影剤注入装置関連及びその他消耗品の販売数量が増加したことから、当中間会計期間の売上高は1,399,239千円(前年同中間期比20.9%増)、セグメント利益は163,095千円(前年同中間期比9.7%増)となりました。

#### ③ その他

売上総利益率の低いTAVI及びTEVAR等の販売数量が増加する一方、売上総利益率の高い自社企画品の販売数量が鈍化したため、当中間会計期間の売上高は2,187,467千円(前年同中間期比9.9%増)、セグメント利益は227,900千円(前年同中間期比0.4%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第中間会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ141,376千円増加し、21,297,590千円となりました。これは主に、金銭の信託が2,000,000千円、商品が379,982千円増加し、現金及び預金が2,028,858千円、受取手形、売掛金及び契約資産が203,303千円減少したことによるものであります。固定資産は、前事業年度末に比べ152,387千円増加し、1,675,048千円となりました。これは主に、有形固定資産が43,987千円、差入保証金が75,520千円、繰延税金資産が48,000千円増加し、その他が14,879千円減少したことによるものであります。

これらの結果、当中間会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ293,763千円増加し、22,972,638千円となりました。

(負債)

当第中間会計期間末における流動負債は、前事業年度末に比べ666,173千円増加し、13,624,323千円となりました。これは主に、買掛金が452,709千円、未払法人税等が128,000千円、その他が75,192千円増加したことによるものであります。固定負債は、前事業年度末に比べ6,349千円増加し、528,339千円となりました。これは、退職給付引当金が23,367千円増加し、その他が17,018千円減少したことによるものであります。

これらの結果、当中間会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ672,522千円増加し、14,152,663千円となりました。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ378,758千円減少し、8,819,975千円となりました。これは主に、中間純利益により115,996千円増加し、剰余金の配当により522,227千円減少したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は38.4%(前事業年度末は40.6%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第中間会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動による資金の獲得718,657千円、投資活動による資金の支出222,513千円、財務活動による資金の支出522,453千円等により、前事業年度末と比較して28,858千円減少し、7,460,546千円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税引前中間純利益177,973千円に加え、減価償却費の計上185,553千円、売上債権の減少99,769千円、仕入債務の増加447,851千円、その他の増加178,942千円の増加要因があった一方、棚卸資産の減少420,866千円等の減少要因があったことから、718,657千円の資金の獲得(前年同中間期は498,326千円の支出)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出147,226千円、差入保証金の差入による支出80,482千円等の減少要因があったことから222,513千円の資金の支出(前年同中間期は134,093千円の支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払額521,252千円等の減少要因があったことから、522,453千円の資金の支出(前年同中間期は311,222千円の支出)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期の業績予想につきましては、2024年5月15日公表の「2024年3月期決算短信」における業績予想から変更はございません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,489,404	5,460,546
受取手形、売掛金及び契約資産	10,287,298	10,083,994
電子記録債権	1,332,469	1,433,977
金銭の信託	—	2,000,000
商品	1,586,090	1,966,072
その他	461,550	353,599
貸倒引当金	△600	△600
流動資産合計	21,156,213	21,297,590
固定資産		
有形固定資産	745,697	789,685
無形固定資産	23,628	23,386
投資その他の資産		
投資有価証券	95,230	95,230
差入保証金	241,497	317,017
繰延税金資産	380,000	428,000
その他	36,607	21,728
投資その他の資産合計	753,334	861,975
固定資産合計	1,522,661	1,675,048
資産合計	22,678,874	22,972,638
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	12,234,790	12,687,499
電子記録債務	99,972	95,114
未払法人税等	—	128,000
賞与引当金	282,175	297,304
その他	341,211	416,404
流動負債合計	12,958,150	13,624,323
固定負債		
退職給付引当金	473,761	497,128
その他	48,229	31,211
固定負債合計	521,990	528,339
負債合計	13,480,140	14,152,663
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	344,457	344,457
資本剰余金	314,730	314,730
利益剰余金	8,892,865	8,485,149
自己株式	△353,319	△324,362
株主資本合計	9,198,733	8,819,975
純資産合計	9,198,733	8,819,975
負債純資産合計	22,678,874	22,972,638

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	22,632,850	24,033,467
売上原価	20,300,398	21,638,704
売上総利益	2,332,451	2,394,763
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	724,777	786,178
賞与引当金繰入額	276,136	297,304
退職給付費用	43,762	41,813
その他	963,912	1,092,130
販売費及び一般管理費合計	2,008,588	2,217,426
営業利益	323,863	177,336
営業外収益		
受取利息	11	1,393
為替差益	5,644	—
その他	1,155	750
営業外収益合計	6,811	2,144
営業外費用		
支払利息	125	302
為替差損	—	2,520
営業外費用合計	125	2,822
経常利益	330,549	176,658
特別利益		
固定資産売却益	—	1,318
新株予約権戻入益	10,222	—
特別利益合計	10,222	1,318
特別損失		
固定資産売却損	—	3
固定資産除却損	3,390	0
特別損失合計	3,390	3
税引前中間純利益	337,380	177,973
法人税、住民税及び事業税	127,173	109,976
法人税等調整額	△23,000	△48,000
法人税等合計	104,173	61,976
中間純利益	233,207	115,996

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前中間純利益	337,380	177,973
減価償却費	205,253	185,553
株式報酬費用	16,755	15,493
新株予約権戻入益	△10,222	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△21,876	15,128
退職給付引当金の増減額(△は減少)	13,324	23,367
受取利息及び受取配当金	△15	△1,397
支払利息	125	302
為替差損益(△は益)	△5,858	2,548
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△1,315
固定資産除却損	3,390	0
売上債権の増減額(△は増加)	62,332	99,769
棚卸資産の増減額(△は増加)	△301,597	△420,866
仕入債務の増減額(△は減少)	△688,226	447,851
未払消費税等の増減額(△は減少)	31,853	△1,798
その他	86,789	178,942
小計	△270,591	721,554
利息及び配当金の受取額	15	151
利息の支払額	△125	△302
法人税等の支払額	△227,624	△2,745
営業活動によるキャッシュ・フロー	△498,326	718,657
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△105,214	△147,226
有形固定資産の売却による収入	—	1,451
無形固定資産の取得による支出	△6,465	△1,218
差入保証金の差入による支出	△28,498	△80,482
差入保証金の回収による収入	6,084	4,962
投資活動によるキャッシュ・フロー	△134,093	△222,513
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の処分による収入	1,678	—
配当金の支払額	△312,114	△521,252
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△785	△1,201
財務活動によるキャッシュ・フロー	△311,222	△522,453
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,858	△2,548
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△937,783	△28,858
現金及び現金同等物の期首残高	8,614,223	7,489,404
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,676,440	7,460,546



(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計 (注)2
	不整脈事業	虚血事業	計		
売上高					
ペースメーカー	1,913,877	—	1,913,877	—	1,913,877
植込型除細動器	1,202,700	—	1,202,700	—	1,202,700
両心室ペーシング機能付き 植込型除細動器	839,221	—	839,221	—	839,221
電気生理検査用カテーテル	5,640,769	—	5,640,769	—	5,640,769
心腔内超音波プローブ	2,053,418	—	2,053,418	—	2,053,418
熱アブレーション用カテー テル(機能付き)	2,970,693	—	2,970,693	—	2,970,693
熱アブレーション用カテー テル	155,175	—	155,175	—	155,175
冷凍アブレーション用カテ ーテル	1,296,609	—	1,296,609	—	1,296,609
エキシマレーザー	—	105,605	105,605	—	105,605
その他	3,169,155	1,018,303	4,187,458	1,990,893	6,178,352
顧客との契約から生じる収 益	19,241,621	1,123,908	20,365,530	1,990,893	22,356,424
その他の収益	242,961	33,464	276,425	—	276,425
外部顧客への売上高	19,484,583	1,157,372	20,641,956	1,990,893	22,632,850
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	19,484,583	1,157,372	20,641,956	1,990,893	22,632,850
セグメント利益	1,954,922	148,742	2,103,664	228,787	2,332,451

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、脳外科事業及び消化器事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は中間損益計算書の売上総利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

特記すべき重要な事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計 (注) 2
	不整脈事業	虚血事業	計		
売上高					
ペースメーカー	1,979,486	—	1,979,486	—	1,979,486
植込型除細動器	1,177,593	—	1,177,593	—	1,177,593
両心室ペーシング機能付き 植込型除細動器	889,094	—	889,094	—	889,094
電気生理検査用カテーテル	5,905,630	—	5,905,630	—	5,905,630
心腔内超音波プローブ	2,210,015	—	2,210,015	—	2,210,015
熱アブレーション用カテー テル(機能付き)	3,017,093	—	3,017,093	—	3,017,093
熱アブレーション用カテー テル	130,682	—	130,682	—	130,682
冷凍アブレーション用カテ ーテル	1,452,699	—	1,452,699	—	1,452,699
PFアブレーション用カテー テル	52,229	—	52,229	—	52,229
エキシマレーザー	—	107,791	107,791	—	107,791
その他	3,363,589	1,268,820	4,632,409	2,187,467	6,819,877
顧客との契約から生じる収 益	20,178,115	1,376,611	21,554,726	2,187,467	23,742,194
その他の収益	268,645	22,628	291,273	—	291,273
外部顧客への売上高	20,446,760	1,399,239	21,845,999	2,187,467	24,033,467
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	20,446,760	1,399,239	21,845,999	2,187,467	24,033,467
セグメント利益	2,003,766	163,095	2,166,862	227,900	2,394,763

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、脳外科事業及び消化器事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は中間損益計算書の売上総利益と一致しております。

3 当中間会計期間より、新商品が販売されたことに伴い、「PFアブレーション用カテーテル」という項目を新たに設けております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

特記すべき重要な事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。